



# 小平南西部地域における公共交通のまとめ

令和3年6月

小平市



## 目次

1	小平市の現状及び背景 .....	1
	（1）市の公共交通の現状 .....	1
	（2）コミュニティタクシー導入の経緯 .....	1
	（3）コミュニティタクシー3ルート（試行運行） .....	3
2	小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会 .....	4
	（1）概要 .....	4
	（2）会議の開催 .....	5
3	コミュニティタクシー実証実験運行 .....	8
	（1）検討経緯 .....	8
	（2）実証実験運行の実施 .....	9
4	コミュニティタクシー実証実験運行の利用実績等 .....	19
	（1）運行ルート別の利用状況 .....	19
	（2）停留所別の利用状況 .....	22
	（3）停留所の利用状況から見えてきた主な目的地 .....	24
	（4）公共交通機関と接続した停留所 .....	24
5	実証実験運行の利用実績等から見えてきた状況 .....	26
	（1）移動傾向 .....	26
	（2）地域の特性 .....	27
	（3）地域課題 .....	27
	（4）その他 .....	28
6	南西部地域における地域公共交通の今後について .....	29
	（1）考える会の今後の活動 .....	29
	（2）目指すべき方向性 .....	29
	<参考資料> .....	30
1	アンケート調査結果について .....	30

(1) 小平南西部地域 生活交通に関するアンケート調査.....	30
(2) 南西部地域コミュニティタクシー<ぶるべー号>に関するアンケート調査....	30
(3) ぶるべー号利用者アンケート調査 .....	31
(4) 鷹の台駅西側ルート第2期利用者アンケート調査.....	31
2 運行経費、運賃収入、補助金額 .....	32
(1) 鷹の台駅西側ルート第1期(平成30年度決算) .....	32
(2) 上水本町・一橋ルート(令和元年度決算) .....	32
(3) 鷹の台駅西側ルート第2期(令和2年度決算見込み) .....	32

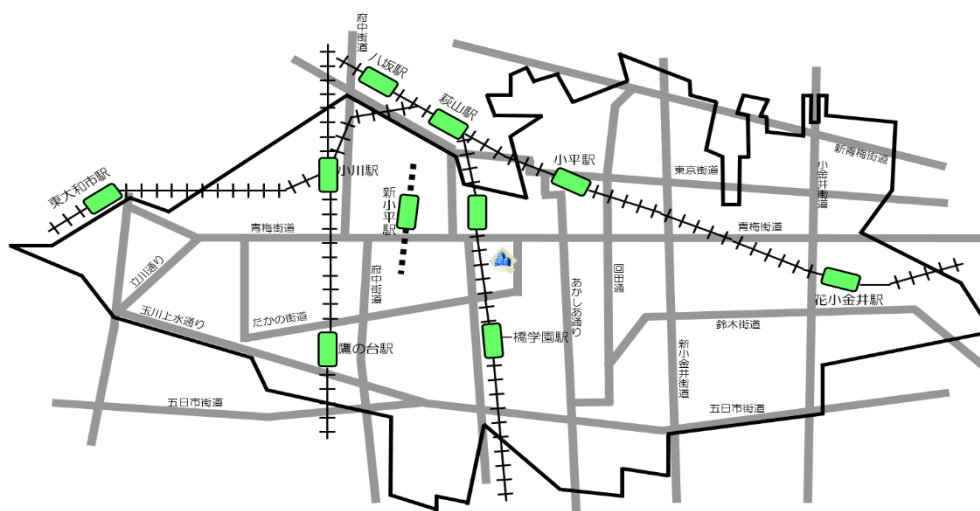
## 1 小平市の現状及び背景

### (1) 市の公共交通の現状

市内には7つの駅、市境には3つの駅があり、都心へのアクセス性に優れている。また、西武線の各駅とJR線を結ぶバス路線も充実している。

一方、最寄り駅へのアクセスや買い物、通院などを目的とした施設へのアクセス、及び高齢者や子育て中の方などの生活の足を確保するため、基幹の交通網である鉄道やバス路線を補完する生活交通の充実が求められている。

#### 【市内の鉄道駅：市内7駅・市境3駅】



### (2) コミュニティタクシー導入の経緯

平成16年1月にコミュニティバス「にじバス」の試行運行が開始し、平成18年3月には、市内における交通体系のあり方について、「総合的な交通体系のあり方懇談会」から提案を受けた。あり方懇談会からの提案や地域の状況、市民の要望等を踏まえて、平成18年9月に「市の公共交通に対する基本的な考え方」をまとめ、その中で、地域ごとのニーズに基づくコンパクトな地域内の生活交通の充実を図る基本方針が示された。

最寄り駅へのアクセスや買い物、通院など、市民の生活の足を確保するための移動手段として、コミュニティタクシーの導入に向け、市内を4つの地域（A～D）に分けて検討することとなった。検討にあたっては、それぞれの地域において、自治会や商店会等の地域の代表者で構成する「コミュニティタクシーを考える会（以下、「考える会」）」が組織された。

現在、3地域（A・C・D地域）において、それぞれの考える会の検討により、コミュニティタクシーの継続的な運行が実施されている。残る1地域（B地域）での検討についても、平成28年5月から実施されている。

【小平市総合的な交通体系のあり方懇談会】

- ・開催：平成17年度
- ・構成：学識経験者、民間バス事業者、タクシー事業者、公募市民、交通関係機関等

＜市の公共交通に対する基本的な考え方＞

平成18年9月

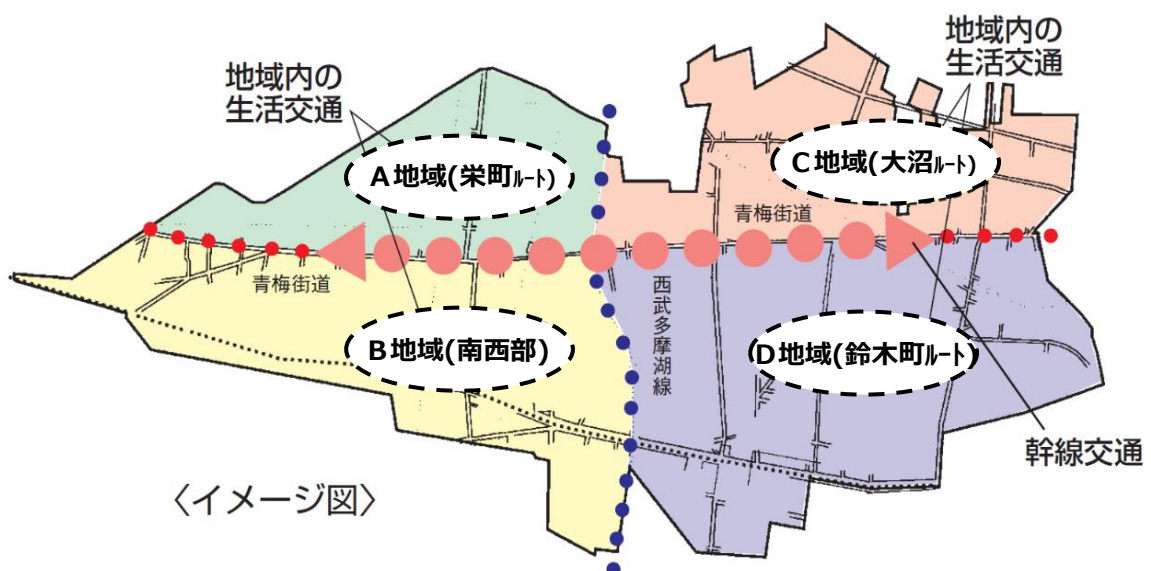
- ・コミュニティバスの全市的な展開は、道路事情や運行経費の面からも困難と判断。
- ・青梅街道で南北を、西武多摩湖線東西に区切った4つの地域において、地域の状況に即した公共交通を構築する。
- ・地域で支える公共交通を目指す。



民間路線バスを補完する市民の足を確保するため、それぞれの地域において、コミュニティタクシーの導入に向けて地域との協働により検討する。



【青梅街道と西武多摩湖線で区切った4つの地域（A B C D）】



### (3) コミュニティタクシー3ルート（試行運行）

①大沼ルート 平成19年 8月 コミュニティタクシーを考える会発足  
 平成20年 3月 実証実験運行開始  
 平成21年 9月 試行運行開始

②栄町ルート 平成20年12月 コミュニティタクシーを考える会発足  
 平成22年 5月 実証実験運行開始  
 平成23年 5月 試行運行開始

③鈴木町ルート 平成24年10月 コミュニティタクシーを考える会発足  
 平成25年11月 実証実験運行開始  
 平成27年 3月 試行運行開始



大沼ルート

＜運行車両 トヨタハイエース＞

- ・定員：9人乗り（乗務員を除く）
- ・車幅：1.88m
- ・車いすリフト付き
- ・車両デザイン：武蔵野美術大学との連携



栄町ルート

＜運行車両 トヨタハイエース＞

- ・定員：9人乗り（乗務員を除く）
- ・車幅：1.88m
- ・車いすリフト付き
- ・車両デザイン：武蔵野美術大学との連携



鈴木町ルート

＜運行車両 日産キャラバン＞

- ・定員：9人乗り（乗務員を除く）
- ・車幅：1.69m
- ・車両デザイン：嘉悦大学との連携

3ルート新車両導入（令和3年2月）による  
感染症対策の強化と環境への配慮

- ・ウイルス除去装置の設置
- ・車内の抗菌加工の実施
- ・予防安全装置の装備

## 2 小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会

### (1) 概要

#### ①目的

市の南西部地域の住民等で構成された「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会（以下、「考える会）」を組織し、地域の特性に即したコンパクトな生活交通を確立する。

#### ②活動開始時期

平成28年5月

#### ③構成

自治会や商店会の代表者を中心に、地域の社会福祉法人や大学、交通事業者等18団体

#### 【参加団体一覧】

1	上水本町上鈴木自治会	(上水本町)
2	白梅北自治会	(小川町1丁目)
3	美大前自治会	(小川町1丁目)
4	南台自治会	(小川町1丁目)
5	武蔵野鷹の台ガーデンハウス	(小川町1丁目)
6	上水新町青葉会自治会	(上水新町1丁目)
7	たかの台1号自治会	(上水新町3丁目)
8	鷹の台団地小平自治会	(上水新町3丁目)
9	フェリードスクエア自治会	(上水新町2丁目)
10	たかの台地区商店会	
11	小平商工会	
12	J A東京むさし 小平支店	
13	たかの台駅前郵便局	
14	社会福祉法人黎明会	
15	株式会社トーショー (現：トーショー交通株式会社)	
16	小平交通有限会社	
17	白梅学園大学	
18	小平南西部地域にコミュニティバスを走らせる会	



## (2) 会議の開催

	開催日 場 所	参加 人数	内 容
第1回	H28. 5. 30 602 会議室	20 人	小平市コミュニティタクシー運行事業の概要説明、今後の進め方
第2回	H28. 6. 27 602 会議室	17 人	コミュニティタクシー運行事業に関する法律等の制約について、乗車ニーズ調査
第3回	H28. 7. 27 301 会議室	21 人	南東部地域コミュニティタクシーを考える会との意見交換
第4回	H28. 8. 24 301 会議室	17 人	乗車ニーズ調査、今後の進め方について
第5回	H28. 9. 29 602 会議室	19 人	乗車ニーズ調査、今後の進め方
第6回	H28. 10. 26 503 会議室	16 人	乗車ニーズ調査、南西部地域の公共交通の現状を考える
第7回	H28. 11. 15・25 ぶるべー号	8 人	コミュニティタクシー3ルートの試乗
第8回	H28. 12. 19 504 会議室	17 人	試乗の意見交換、南西部地域の公共交通の現状を考える
第9回	H29. 1. 23 505 会議室	19 人	調査結果を踏まえた交通状況の地図作成、地域課題の把握
第10回	H29. 2. 16 福祉会館 第1集会室	17 人	各団体による運行ルート（案）の発表、2グループによるルート案検討
第11回	H29. 3. 23 福祉会館 第1集会室	16 人	小平警察署との相談（報告）、居住者専用道路について、2グループによるルート案検討
第12回	H29. 4. 20 福祉会館 第2集会室	13 人	運行ルート案の現地調査（報告）
第13回	H29. 5. 25 504 会議室	13 人	会の内容・今後の進め方について、運行ルート案の現地調査（報告）
第14回	H29. 6. 26 501 会議室	15 人	これまでの会の内容、運行ルート・運行システム、実証実験期間の検討、今後の進め方について
第15回	H29. 7. 26 505 会議室	18 人	運行ルート案の現地調査（報告）、2グループによる運行ルート・運行システム、実証実験期間の検討
第16回	H29. 8. 31 504 会議室	13 人	警視庁説明（報告）、運行ルートの検討
第17回	H29. 9. 21 福祉会館 第1集会室	15 人	鷹の台駅西側運行ルートの検討、上水本町運行ルート案の検討
第18回	H29. 10. 26 津田公民館講座室	12 人	運行ルートの現地調査（報告）、運行ルート案の検討
第19回	H29. 11. 16 健康センター 第3.4 会議室	13 人	停留所も含めた運行ルート案の検討
第20回	H29. 12. 21 健康センター 第3.4 会議室	15 人	停留所も含めた運行ルート案の検討、民間バスの路線変更に関する情報提供、実証実験運行に関する検討

	開催日 場 所	参加 人数	内 容
第 21 回	H30. 1. 25 601 会議室	13 人	警視庁実査（報告）、 実証実験運行の開始順について
第 22 回	H30. 3. 22 健康センター 第 3 会議室	20 人	運行事業者の決定（報告）、 警視庁説明・実査（報告）、 武蔵野美術大学折り返し場の使用開始について
第 23 回	H30. 4. 26 503 会議室	16 人	警視庁調整について、仮停留所の作成について、 コミュニティタクシー3ルート乗車状況の報告、 「バスとタクシーのひろば in 小平 2018」開催に ついて
第 24 回	H30. 5. 24 大会議室	13 人	実証実験運行に係る小平市地域公共交通会議の協 議について、実証実験運行の周知・広報について、 「バスとタクシーのひろば in 小平 2018」実施報告
第 25 回	H30. 6. 21 503 会議室	14 人	実証実験運行に係る停留所の設置、 国土交通省への申請、周知・広報について
第 26 回	H30. 7. 19 301 会議室	18 人	実証実験運行開始式について、 実証実験運行チラシ配布について
第 27 回	H30. 8. 30 504 会議室	12 人	実証実験運行の実績報告、鷹の台駅西側ルートの 意見・問合せ、広報等について、 上水本町ルートについて
第 28 回	H30. 9. 27 健康センター 第 2. 3 会議室	16 人	実証実験運行の実績報告、鷹の台駅西側ルートの 利用促進について、 「こだいら環境フェスティバル 2018」参加及び アンケートの集計結果について
第 29 回	H30. 10. 19/30 鷹の台駅周辺	11 人	実証実験運行の実績報告、チラシ配布地域の調整、 鷹の台駅付近における PR 活動
第 30 回	H30. 11. 15 健康センター 第 3. 4 会議室	12 人	実証実験運行の実績報告、鷹の台駅西側ルートの 利用促進について、上水本町ルートの調整状況
第 31 回	H30. 12. 20 504 会議室	12 人	上水本町ルートの調整状況について、鷹の台駅西側 ルート実証実験運行の乗車実績及び利用促進につい て、小平市公共交通マップについて、 ぶるべー号 3 路線のクリスマス企画について
第 32 回	H31. 2. 7 健康センター 第 3. 4 会議室	15 人	鷹の台駅西側ルート実証実験運行の乗車実績等につ いて、上水本町ルートの実証実験運行について
第 33 回	H31. 3. 14 福祉会館 第 1 会議室	13 人	上水本町・一橋ルートの乗車実績等について、 上水本町・一橋ルートの広報等について、鷹の台駅 西側ルート実証実験運行の検証等について
第 34 回	R1. 6. 20 中央公民館学習室 4	14 人	上水本町・一橋ルートの乗車実績等について、 南西部地域の今後の取組について、 アンケート調査の実施について
第 35 回	R1. 7. 18 505 会議室	12 人	上水本町・一橋ルートの乗車実績等について、 再実証実験運行について、 アンケート調査の協力依頼について
第 36 回	R1. 8. 13 504 会議室	10 人	上水本町・一橋ルートの乗車実績等について、 再実証実験運行のルート案について
第 37 回	R1. 9. 18 中央公民館講座室 2	12 人	上水本町・一橋ルート実証実験運行について、 南西部地域アンケート調査結果について（報告）、 再実証実験運行（鷹の台駅西側ルート第 2 期）に ついて
第 38 回	R1. 10. 23 中央公民館講座室 1	10 人	南西部地域アンケート調査結果について（報告）、 再実証実験運行（鷹の台駅西側ルート第 2 期）に ついて

	開催日 場 所	参加 人数	内 容
第 39 回	R1. 11. 20 中央公民館講座室 1	12 人	再実証実験運行に係る関係機関等の調整状況について、周知・PR 活動について
第 40 回	R1. 12. 18 小川公民館講座室	11 人	再実証実験運行に係る関係機関等の調整状況について、周知・PR 活動について
第 41 回	R2. 1. 15 鷹の台駅周辺	12 人	周知・PR 活動について、鷹の台駅周辺及びいなげや小平小川橋店でのチラシ配り
第 42 回	R2. 2. 19 505 会議室	11 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行乗車実績等について、周知・PR 活動について
第 43 回	R2. 6. 17 大会議室	14 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行乗車状況について、令和元年度コミュニティタクシー・コミュニティバス乗車実績状況、ぶるべー号利用者アンケート集計結果について、実証実験運行中止の経緯について、実証実験運行再開に向けた検討
第 44 回	R2. 8. 19 男子和室	11 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行再開に向けた検討
第 45 回	R2. 9. 16 中央公民館ホール	11 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行再開に向けた検討
第 46 回	R2. 10. 21 小川公民館学習室 2	11 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行再開に向けた準備、停留所張替作業（運行再開周知ポスター）ほか
第 47 回	R2. 11. 18 小川公民館講座室	6 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行の乗車状況について、周知・PR 活動について
第 48 回	R2. 12. 16 小川公民館講座室	10 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行に関する周知・PR 活動について、令和 2 年地域公共交通国土交通大臣表彰授賞式について
第 49 回	R3. 1. 20 小川公民館ホール	9 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行に関する周知・PR 活動について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止について
第 50 回	R3. 2. 17 小川町一丁目地域 センター第 3 集会室	13 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行に関する周知・PR 活動について、鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行利用者アンケート調査について、南西部地域の公共交通に関する今後の検討について
第 51 回	R3. 3. 24 中央公民館講座室 2	14 人	鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行乗車状況について、鷹の台駅西側ルート第 2 期実証実験運行利用者アンケート調査について、南西部地域の公共交通に関する今後の検討について
第 52 回	R3. 4. 21 小川公民館講座室	12 人	南西部地域におけるコミュニティタクシー実証実験運行の総括について、南西部地域の公共交通に関する今後の検討について、バスとタクシーのひろば in 小平 2021 について



### 3 コミュニティタクシー実証実験運行

#### (1) 検討経緯

考える会では、南西部地域の公共交通における状況の把握や課題を共有するため、地図上に駅やバス停留所を基点※として円を描き交通が不便な地域の洗い出しを行うとともに、地域住民へアンケート調査を実施し、外出目的や人の流れ、人が集まる場所などを確認し合った。

その結果、西武国分寺線で生活圏が東西に分断されていることの共通認識が図られ、コミュニティタクシー実証実験運行を西武国分寺線の西側（鷹の台駅西側ルート）と東側（上水本町・一橋ルート）で、それぞれ実施することとなった。

運行ルート案や停留所位置及びダイヤ、運賃等の運行システム案については、南西部地域の移動における課題や需要を整理しながら、検討を重ねた。

#### 【考える会のグループワークの様子】



#### ※駅やバス停留所の基点

交通の便が行き届くエリアとして、駅から半径500メートル、バス停留所から半径200メートルと位置付けた。

#### <コミュニティタクシーの目的・コンセプト>

地域ごとのニーズに基づくコンパクトな地域内の生活交通



- ・最寄駅へのアクセスや買物などを目的とした施設へのアクセスの確保
- ・高齢者、子育て中の方の生活の足の確保
- ・地域の活性化、地域経済の活性化



## (2) 実証実験運行の実施

### ①鷹の台駅西側ルート第1期

#### ◆運行ルートの検討ポイント

- ・小平第五中学校周辺から武蔵野美術大学周辺エリアの鷹の台駅までの移動の確保
- ・鷹の台駅と南台病院までの移動を確保し、南西部地域内の東西の接続
- ・上水新町2・3丁目エリアの公共交通不便の解消
- ・玉川上水による南北生活圏の分断の解消
- ・運行を希望するエリアの運行ルートへの取り込み

#### 【運行ルート・停留所の位置に関する考える会や地域の声の反映状況】

##### ■ 反映できたこと

- ・小平第五中学校周辺から鷹の台駅の運行  
→⑪小平第五中学校
- ・南台病院の停留所設置  
→⑧黎明会入口、⑨南台病院前
- ・鷹の台駅～鷹の台駅前商店街の運行  
→①鷹の台駅北、②鷹の台本通り
- ・青梅街道への接続  
→⑩小川三叉路
- ・上水新町地域センターの停留所設置  
→⑦上水新町地域センター

##### ■ 一部修正して反映できたこと

- ・上水新町～若葉町団地エリア  
→⑥上水新町一丁目～⑦上水新町地域センター間は、必要な道路幅員が確保できないため、停留所設置なし
- ・玉川上水通りの運行  
→狭隘道路のため、運行可能な幅員を確保できる国分寺市内の道、立川市境を經由し、上水新町1丁目地域の一部のみ玉川上水通りを運行

##### ■ 反映できなかったことや運行できなかったエリア

- ・東大和市駅への接続  
→鷹の台駅からの距離が遠く、民間バス路線と重複しているため、運行困難であった
- ・十二小通り周辺、小川町一丁目地域センター・児童館への接続  
→青梅街道への接続を優先したため、運行時間や運行効率を考慮すると、運行ルートに含めることが困難であった
- ・武蔵野美術大学周辺の運行  
→民間バス路線の折り返し場が設置されており、既に交通利便性が高い
- ・水車通り、元中宿通り  
→運行や停留所設置に必要な幅員の確保ができず、車両制限令の基準\*を満たしていないことから、運行や停留所設置ができなかった

※車両制限令の基準（コミュニティタクシーの運行に必要な道路幅員）

相互通行→5.76メートル

（車両幅1.88m×2+すれ違い幅0.5m+路側帯0.75m×2）

一方通行→3.88メートル

（車両幅1.88m+すれ違い幅0.25m×2+路側帯0.75m×2）

⇒道路法第47条第2項により、この制限を超える車両は、原則として道路の通行が禁止されている。



## 【運行ルート・停留所の位置】

運行期間：平成30年7月30日～平成31年1月29日（122日間）



### ◆利用促進の取組

- ・市報（平成30年8月5日号）、市ホームページへの掲載
- ・中央公園、鷹の台駅周辺でのチラシ配布（平成30年10月19・30日）
- ・運行ルート沿線の住宅へのポスティング（平成30年10月19日～運行期間中）
- ・運行ルート沿線の小中学校（一小、十二小、上宿小、五中）へのチラシ配布  
（平成30年12月3日）
- ・運行ルート沿線の公共施設、高齢者施設、集会施設、商店等へのチラシ・ポスターの配布  
（運行期間中）

### 【平成30年7月30日 小平市コミュニティタクシー実証実験運行開始式】



## ◆実証実験運行終了後の検証

### 運行ルートについて

- ・第一のポイントであった鷹の台駅と南台病院との接続は、運行ルートの設定ができた。
- ・停留所「南台病院前」「小平第五中学校」「創価学園西」「鷹の台駅北」を設置し、南西部地域北側の交通が不便なエリアの需要を捉えた運行ルートが設定できた。
- ・運行ルートの1周が長く一方向であったため、玉川上水付近から鷹の台駅へ、小平第五中学校付近から南台病院へ向かうには遠回りとなり、その解消ができなかった。
- ・安全性や道路交通事情を考慮する必要があることから、行きたい場所やニーズを十分に反映した運行ルートが設定できなかった。

### 停留所について

- ・停留所の設置にあたっては、交差点や横断歩道、駐車場の出入口などから、一定の距離を確保する必要があるため、設置場所が限られていた。
- ・要望がある停留所の設置場所であっても、近隣住民等の理解が得られなかった。
- ・小川三叉路から小平第五中学校間のエリアに停留所を設けられれば、さらに利用者が伸びる可能性がある。
- ・「黎明会入口」と「南台病院前」の停留所は、距離的にも近くどちらか一方でも可能である。
- ・小川公民館付近への停留所設置は、道路交通事情等から実現できなかった。
- ・買い物先に便利な停留所が無いと、グルメシティ立川若葉店やいなげや小平小川橋店付近に停留所が必要である。
- ・停留所の標識が、小さくわかり難かった。

### 周知・PRについて

- ・実証実験運行の実施について、もっと幅広く積極的に宣伝すべきであった。

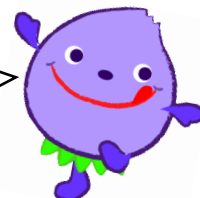
### その他

- ・30分間隔は毎時同じタイミングとなるので覚えやすいが、30分間隔に囚われず、利用者が多く見込めるルートの設定が必要であった。
- ・鷹の台駅や国分寺駅方面の西武バス路線が充実していることが、コミュニティタクシーの利用が少ない原因の一つであると考えられる。
- ・地域のニーズが十分に反映できなかったことから、今回の運行ルートへのニーズが少なく、利用人数が伸びなかった。

### 【環境フェスティバル参加の様子（in中央公園）】



びるべー号の車両展示・  
南西部地域の交通に関するアンケート  
調査の実施などを通じて、実証実験  
運行のPRをしました。



## ②上水本町・一橋ルート

### ◆運行ルートの検討ポイント

- ・上水本町地域における公共交通機関の不便の解消
- ・上水本町地域における買い物等の外出の流れとして、市内を循環させる移動の確保
- ・玉川上水による南北の生活圏の分断の解消
- ・十小通り周辺に高齢世帯が多く集中しているため、その需要の取り込み
- ・通院先へのアクセスとして、一橋病院前の停留所の設置
- ・地域内に存在する一橋学園駅やコミュニティバスとの接続

### 【運行ルート・停留所位置に関する考える会や地域の声の反映状況】

#### ■ 反映できたこと

- ・上水本町地域から鷹の台駅、一橋学園駅を繋ぐルートの設定
- ・玉川上水の南北を繋ぐルート設定
- ・一橋病院前の停留所設置  
→⑥一橋病院
- ・コミュニティバスとの接続  
→⑨四小通り

#### ■ 一部修正して反映できたこと

- ・十小通り周辺エリア  
→十小以東は、歩車分離がされていない通学路のため、運行が困難であった
- ・一橋学園駅への接続  
→駅周辺に停留所が設置できるスペースがなかったため、⑦一橋学園駅南が最寄り停留所となった

#### ■ 反映できなかったことや運行できなかったエリア

- ・スーパーマーケット（上水本町5丁目）方面へ向かう運行ルート  
→十小以東の十小通りの運行が困難であったこと、十小通りと市役所西通りのT字路の右折が危険と指摘されたため

### 【運行ルート・停留所の位置】

運行期間：平成31年3月1日～令和元年8月30日（122日間）





#### ◆利用促進の取組

- ・市報（平成 31 年 3 月 5 日号、6 月 5 日号、8 月 5 日号）、市ホームページ掲載
- ・ルート沿線住宅へのポスティング（運行期間中）
- ・沿線ルートの自治会でのチラシの回覧（平成 31 年 3 月）
- ・「学園西町地区地域連絡会だより」へ記事を掲載し、自治会内で個別配布
- ・沿線小中学校（四小、十小、四中）へのチラシの配布
- ・ルート沿線の公共施設、高齢者施設、医療機関、商店会等へのチラシ・ポスターの配布  
(運行期間中)
- ・ルート沿線の地域センター等における地域のイベントや会議等での説明会の実施  
(運行期間中)

#### ◆実証実験運行終了後の検証

##### 運行ルートについて

- ・安全性や車両制限令等の道路交通事情の問題から、十小通りの運行や十小通りと市役所西通りのT字路の右折ができなかった。
- ・上水本町エリアの住民は、買い物や外出先として国分寺駅方面に出向く傾向があり、運行ルートが人の動きやニーズと合っていないかった。
- ・利用状況から、若い世代は不便を感じる方は少なく、自転車で行く人も少なくないことから、日常的な利用につながらなかった。

##### 停留所について

- ・一橋学園駅や鷹の台駅、それぞれの駅前に停留所が設置できる場所が確保できなかった。
- ・道路交通事情や交通安全の観点から、要望があった場所に停留所の設置ができなかった。
- ・要望を反映してコミュニティバスに接続できる停留所を設けたが、想定外に利用が少なかった。

##### 周知・PRについて

- ・運行ルート沿線の地域センターや公民館等に出向き、個別にPRしたが、利用者数の増加にはつながらなかった。
- ・自治会や学校関係者、福祉関係機関等の理解、協力により、説明会等のPRする機会を設け、きめ細かく周知活動を行うことができた。
- ・戸別配布している自治会の会報誌に実証実験運行の記事を掲載し、広く周知を図ることができた。

##### その他

- ・道路交通事情の面から、コミュニティタクシーの運行システムが地域に合っていない。
- ・安全性や車両制限令等の道路交通事情を考慮し、コミュニティタクシーが通れない、通せない地域の対策として、小さい車両での運行にシフトするなど、地域の特性に即した新たな交通手段の検討も必要である。
- ・利用促進活動や周知活動を行うにあたり、地域の多様な主体とともに協働により取り組むことで、地域間の関係性の構築や地域活性化に寄与することができた。

### <通学路に係る規制の強化>

- ・ 運行ルートの設定にあたっては、車両制限令による道路幅員の規制により運行できる道路が限られていること、また、道路交通法の駐停車禁止の規定により停留所設置位置が限られることが大きな課題となっていた。
- ・ 近年の通学路におけるバスの重大交通事故の発生に伴い、警視庁から「歩車分離されていない通学路の運行」を原則認めない方向性が示された。
- ・ 南西部地域においては、狭あい道路が多く、かつ学校が多くある地域でもあることから、これまで以上に安全に運行できる道路が限定された。

### 【考える会の皆さんのポスター貼付作業の様子】



### ③鷹の台駅西側ルート第2期

鷹の台駅西側ルートや上水本町・一橋ルートの実証実験運行の利用実績等を踏まえ、地域の特性やニーズを再検証する中で、再度、実証実験運行を実施する意見が示された。

その結果、可能な限り検証結果を反映した運行ルートで再度、実験運行を実施することとなった。

#### ◆運行ルートの検討ポイント

- ・第一期の実証実験運行の検証結果を反映した運行ルート
- ・課題を顕在化し、生活交通の利便性の向上につなげる
- ・これまでも意見があった駅や民間バス停留所につなげることや、買い物、通院、公共施設などを可能な限り反映する
- ・運行時間の30分には拘らない、買い物先を優先して運行ルートに盛り込む
- ・小川町一丁目地域センター付近への停留所の設置
- ・乗降が少ない停留所の見直し

#### 【運行ルート・停留所位置に関する考える会や地域の声の反映状況】

##### ■ 反映できたこと

- ・小平第五中学校から南台病院方面への遠回りの解消  
→④⑬小平第五中学校（往復運行）
- ・社会福祉法人黎明会敷地内の停留所を南台病院に集約することで効率化  
→⑨南台病院
- ・いなげや小平小川橋店への停留所設置  
→⑩いなげや小平小川橋店
- ・30分間隔からニーズの高い目的地を優先した40分間隔の運行  
→買い物先や公共施設への停留所設置、バス路線への接続
- ・利用者数が少なかった、玉川上水以南の運行の見直し

##### ■ 一部修正して反映できたこと

- ・小川三叉路～小平第五中学校間の停留所の設置  
→小平第五中学校から若葉町団地方面の運行ルートに変更し、⑤⑫小川町一丁目地域センター・児童館、⑥せきれい公園停留所を設置
- ・若葉町団地ロータリーへの接続  
→ロータリー内の立川バス停留所との共用は、運転間隔の調整が困難なため見送ったが、至近距離に⑦若葉町団地北を設置

##### ■ 反映できなかったことや

##### 運行できなかったエリア

- ・小川公民館付近への停留所の設置  
→現地を再度確認したが、路地や民家の駐車場出入口の位置関係から停留所を設置できる箇所がなかった

地域の方からの感謝のメッセージをいただきました！



## 【運行ルート・停留所の位置】

運休前 運行期間：令和2年1月14日～令和2年5月8日（77日間）

再開後 運行期間：令和2年10月26日～令和3年3月19日（96日間）



※9時発の南台病院停留所から午後6時23分発のいなげや小平小川橋店停留所まで、40分間隔で運行。

### ◆利用促進の取組

- ・市報（令和2年1月20日号、10月20日号、令和3年3月5日号）、市ホームページ掲載
- ・中央公園、鷹の台駅周辺及びいなげや小平小川橋店でのチラシ配布（令和2年1月14日）
- ・運行ルート沿線の住宅へのポスティング（令和2年1月14日～運行期間中）
- ・運行ルート沿線の小中学校（一小、十二小、五中）へのチラシの配布  
(令和2年10月21日)
- ・運行ルート沿線の公共施設、高齢者施設、集会施設、商店等へのチラシ・ポスターの配布  
(運行期間中)
- ・地域説明会（令和2年1月18日 於：小平第五中学校）
- ・ルート沿線の地域センター等における地域のイベントや会議等での説明会の実施  
(6回実施)

### ◆実証実験運行終了後の検証

#### 運行ルートについて

- ・運行ルートの設定にあたっては、安全性や道路交通事情を考慮する必要があり、地域のニーズが十分に反映できなかった。
- ・停留所「小平第五中学校」の周辺など、一部の運行ルートにおいて双方向となったことで利便性の向上が図れた。
- ・運行ルートから外れた玉川上水以南の上水新町2丁目、3丁目地域には、取り残され感が生じた。

#### 停留所について



- ・「⑩いなげや小平小川橋店」は、利用が多く狙いどおりの設定ができた。
- ・「⑤⑫小川町一丁目地域センター・児童館」は、予想に反し利用が少なかった。
- ・「せきれい公園」から「若葉町団地北」間の住宅地は、比較的若い世代が多く、コミュニティタクシーの利用者層と一致しなかった。

### 周知・PRについて

- ・小平第五中学校周辺では、自治会の要望を受け説明会を開催した結果、他の地域に比べ一定程度の利用者数を維持していた。
- ・運行ルート沿線の地域センターや公民館等に出向き、個別にPRしたが、利用者数の増加にはつながらなかった。
- ・運行開始1か月後からは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域への個別説明会やチラシ配布活動等の周知・PR活動が中止となってしまった。

### その他

- ・運行時間が40分間隔となったことで、時刻表がわかりにくくなった。
- ・令和2年1月14日の運行開催直後の2月中旬から、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が大きかった。
- ・道路交通事情や人の動き、地域のニーズに対して、コミュニティタクシーの運行システムが地域に合っていない状況が判明した。

より効果的にPRするため、考える会の意見を反映しながらカラー版のリーフレットを作成しました。

**主な停留所の発車時刻**

鷹の台駅北	9:20/10:00/10:40~18:00	※40分毎に運行
鷹の台本通り	9:21/10:01/10:41~18:01	
小平第五中学校 (南台病院方面行き)	9:25/10:05/10:45~18:05	
小川町一丁目地域センター・児童館	9:28/10:08/10:48~18:08	
小平西高校東	9:31/10:11/10:51~18:11	
若葉町団地北	9:32/10:12/10:52~18:12	
南台病院	9:00 / 9:40/10:20~18:20	
いなげや小平小川橋店	9:03 / 9:43/10:23	

**小川町1丁目児童館のご案内**

- ・子育てふれあい広場 (毎週水曜日)
- ・アンパンマン体験

**駅前のご案内**

「鷹の台駅北」停留所への道順

- ・コンビニ
- ・化粧品
- ・駐車場
- ・ケーキ
- ・パン
- ・精肉店
- ・日用品
- ・飲食店 などなど

**暮らしに便利な商店街**

- ・郵便局
- ・メディカルプラザ (「たかの台本通り」停留所目の前)
- ・飲食店
- ・不動産屋 などなど

**乗り継ぎのご案内**

- 「小川町1丁目地域センター・児童館」停留所から徒歩5分⇒西武バス/立川バス「武蔵野美術大学」国分寺方面行き平日昼間1時間に3本以上 立川方面行き平日昼間1時間に2本以上
- 「小平西高校東」停留所徒歩1分以内⇒立川バス「小平西高校」立川方面行き平日昼間1時間に2本以上
- 「若葉町団地北」停留所徒歩2分⇒立川バス「若葉町団地」立川方面行き平日昼間1時間に4本以上

**毎日のお買い物に**

- ・いなげや小平小川橋店
- ・ドラッグストア
- ・クリーニング店
- ・デンタルクリニック
- ・フィットネス

**南台病院**

- ・内科、リハビリ科、歯科
- ・皮膚科他
- ・地域包括支援センター

★平大和町駅まで送迎バス (無料)  
9:00~12:00 毎時45分発  
16:35/17:20/17:50他

**買い物も通院も**

- ・セブンイレブン
- ・グルメシティ
- 立川若葉店
- ・クリニック

**運行期間** 令和3年3月19日(金)まで

**運行日** 月曜～金曜  
※連休日: 土日、休日

**運賃** 150円 (小学生80円)  
※未就学児: 無料

◇1日乗車券: 大人400円、小学生200円  
※1日乗車券は車内で販売  
※にじバスとぶるべー号全ルートで共通利用OK

どこを走っているのかな?  
次のページへGo!!

**小平市** **コミュニティタクシー（ぶるべー号）**  
**鷹の台駅西側ルート第2期実証実験**

みなさまの地域でコミュニティタクシーが、  
 再び走り出そうとしています！

1月14日  
 運行開始

「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」と小平市では、前回の実証実験運行の結果を検証し、地域の声をできる限り反映した新たなルートで、もう一度実証実験運行にチャレンジします！！

運行開始：令和2年1月14日（火）予定  
 運行期間：約6か月間  
 主な停留所：鷹の台駅北、小平第五中学校、  
 小川町一丁目地域センター・児童館、  
 若葉町団地北、南台病院、いなげや  
 小平小川橋店  
 運行時間：9時00分南台病院発  
 ～18時23分いなげや小平小川橋店着  
 ※40分間隔（15便）

みなさまからのお声

お買い物を場所がルートになかった…  
 地域のスーパーマーケットの目の前、  
 すぐ近くに行きます！


行きはいいけど、帰りが道なりに戻るから  
 使いにくかった。

行きも帰りも同じ停留所に止まる場所  
 を増やしました。

●ご意見や問合せ  
 小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会  
 事務局：小平市都市開発部公共交通課  
 電話 042-346-9814

地域説明会  
 日時：令和2年1月18日（土）  
 午前11時～  
 場所：小平第五中学校  
 第2美術室  
 どなたでも  
 どうぞ！！

南西部地域  
 コミュニティ  
 タクシー  
 を考える会



自治会の要望を受けて、地域説明会を開催しました。  
 当日は、雪が降っていましたが、17人の参加がありました。



### <新型コロナウイルス感染症拡大の影響>

- ・新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた、令和2年2月中旬より徐々に利用者が減少し、コミュニティバスやコミュニティタクシー3ルートにおいても、前年同月比が3割から4割減となり、4月は5割まで減少する事態となった。
- ・令和2年4月7日に1回目の緊急事態宣言の発出に伴い、市民の外出抑制が長期化し、適正な利用状況や将来的な利用見込みが把握できず、継続的な運行への移行についての検討や、今後の方向性を適正に判断することが困難な状況が生じたため、令和2年5月11日から一時運行を休止した。
- ・その後、感染症の拡大状況を踏まえ、コミュニティバスやコミュニティタクシーの他のルートにおいて、前年の7割程度に安定したことから、令和2年10月26日から運行を再開し、令和3年3月19日まで実証実験運行を実施した。

## 4 コミュニティタクシー実証実験運行の利用実績等

### (1) 運行ルート別の利用状況

#### ①鷹の台駅西側ルート第1期

◆ 運行期間：平成30年7月30日～平成31年1月29日（122日間）

	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
平成30年 7月	2	58	29.0
8月	23	713	31.0
9月	18	687	38.2
10月	22	665	30.2
11月	21	612	29.1
12月	19	563	29.6
平成31年 1月	17	497	29.2
<b>合計</b>	<b>122</b>	<b>3,795</b>	<b>31.1</b>
最多乗車人数	58人：平成30年9月21日（雨等）		
最少乗車人数	13人：平成30年11月13日（曇）		

#### ②上水本町・一橋ルート

◆ 運行期間：平成31年3月1日～令和元年8月30日（122日間）

	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
平成31年3月	20	219人	11.0人
4月	20	211人	10.6人
令和元年5月	19	157人	8.3人
6月	20	200人	10.0人
7月	22	165人	7.5人
8月	21	173人	8.2人
<b>合計</b>	<b>122</b>	<b>1,125人</b>	<b>9.2人</b>
最多乗車人数	20人：平成31年3月18日（晴）		
最少乗車人数	0人：令和元年5月31日（曇）		

③鷹の台駅西側ルート第2期

◆運休前 運行期間：令和2年1月14日～令和2年5月8日（77日間）

	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
令和2年1月	14	367人	26.2人
2月	18	415人	23.1人
3月	21	335人	16.0人
4月	21	182人	8.7人
5月	3	23人	7.7人
<b>合計</b>	<b>77</b>	<b>1,322人</b>	<b>17.2人</b>
最多乗車人数	44人：令和2年2月17日（曇）		
最少乗車人数	0人：令和2年4月28日（雨等）		

※運休期間：令和2年5月9日～令和2年10月25日

◆再開後 運行期間：令和2年10月26日～令和3年3月19日（96日間）

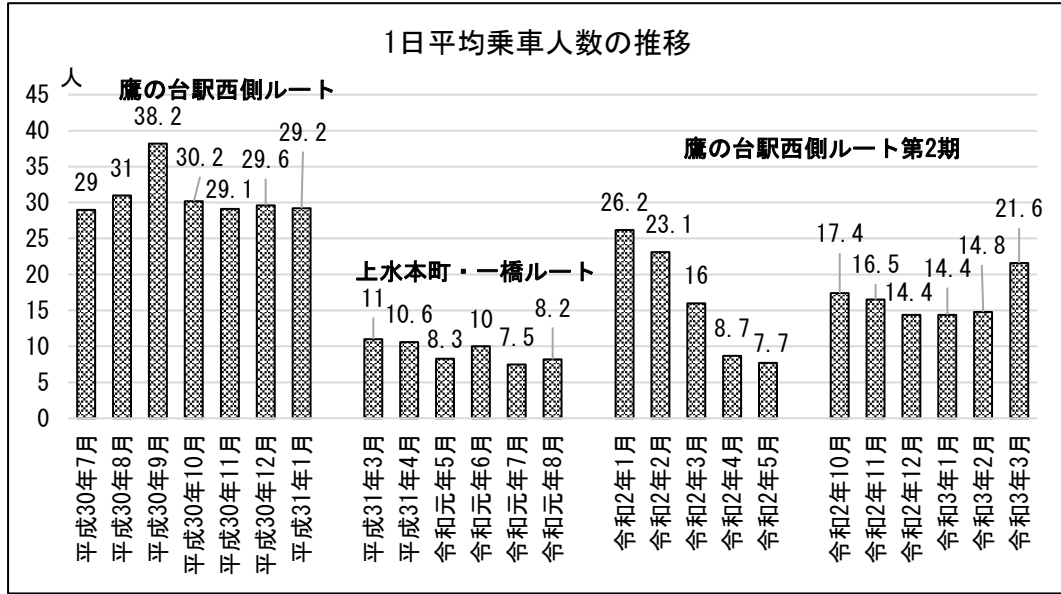
	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
令和2年10月	5	87人	17.4人
11月	19	314人	16.5人
12月	20	288人	14.4人
令和3年1月	19	273人	14.4人
2月	18	267人	14.8人
3月	15	324人	21.6人
<b>合計</b>	<b>96</b>	<b>1,553人</b>	<b>16.2人</b>
最多乗車人数	44人：令和3年3月18日（晴）		
最少乗車人数	4人：令和2年10月27日（曇）		

◆全運行期間

	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
<b>合計</b>	<b>173</b>	<b>2,875人</b>	<b>16.6人</b>



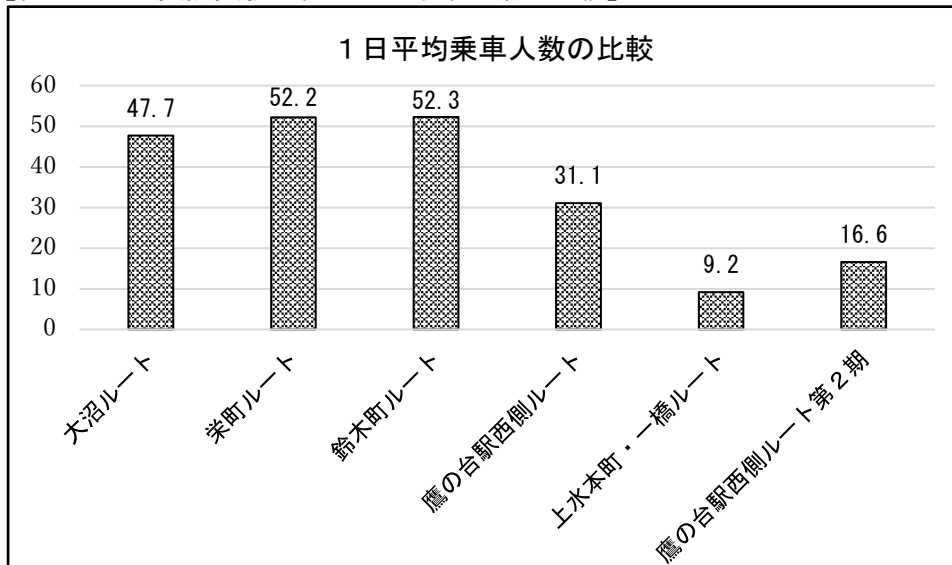
【実証実験運行3ルート：1日平均乗車人数】



【他ルートの実証実験運行の乗車状況】

ルート	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
大沼ルート	126	6,009人	47.7人
栄町ルート	243	12,691人	52.2人
鈴木町ルート	84	4,393人	52.3人
鷹の台駅西側ルート	122	3,795人	31.1人
上水本町・一橋ルート	122	1,125人	9.2人
鷹の台駅西側ルート 第2期	173	2,875人	16.6人

【他ルートの実証実験運行の1日乗車人数の比較】



## (2) 停留所別の利用状況

### ①鷹の台駅西側ルート

#### ◆利用の多い停留所

乗車の多い停留所	南台病院前	867人(22.8%)
	鷹の台駅北	862人(22.7%)
	小平第五中学校	672人(5.9%)
降車の多い停留所	鷹の台駅北	1,878人(49.5%)
	南台病院前	643人(16.9%)
	小平第五中学校	201人(5.9%)

#### ◆利用の少ない停留所

乗車の少ない停留所	あさひ西公園	82人(2.2%)
	北町二丁目	86人(2.3%)
	北町四丁目	98人(2.6%)
降車の少ない停留所	黎明会入口	55人(1.4%)
	創価学園西	70人(1.8%)
	北町二丁目	89人(2.3%)

### ②上水本町・一橋ルート

#### ◆利用の多い停留所

乗車の多い停留所	中央公園入口	374人(33.2%)
	一橋学園駅南	152人(13.5%)
	上水本町クリニックモール	126人(11.2%)
降車の多い停留所	一橋学園駅南	291人(25.9%)
	中央公園入口	259人(23.0%)
	一橋病院	181人(16.1%)

#### ◆利用の少ない停留所

乗車の少ない停留所	小平第十小学校	6人(0.5%)
	上鈴木自治会集会所	13人(1.2%)
	上水本町クリニックモール前	20人(1.8%)
降車の少ない停留所	上水本町地域センター	11人(1.0%)
	商大橋	21人(1.9%)
	上鈴木自治会集会所	21人(1.9%)

### ③鷹の台駅西側ルート第2期

#### ◆利用の多い停留所

乗車の多い停留所	鷹の台駅北	866人(30.1%)
	いなげや小平小川橋店	477人(16.6%)
	南台病院前	416人(14.5%)
降車の多い停留所	鷹の台駅北	1,037人(36.1%)
	いなげや小平小川橋店	372人(12.9%)
	南台病院前	313人(10.9%)

#### ◆利用の少ない停留所

乗車の少ない停留所	若葉町団地北	16人(0.6%)
	せきれい公園	22人(0.8%)
	小川町一丁目地域センター ・児童館	31人(1.1%)
降車の少ない停留所	せきれい公園	17人(0.6%)
	小平西高校東	49人(1.7%)
	小川町一丁目地域センター ・児童館	54人(1.9%)



### (3) 停留所の利用状況から見えてきた主な目的地

#### ① 駅周辺

鷹の台駅西側ルート、鷹の台駅西側ルート第2期

鷹の台駅北→最寄の駅：西武国分寺線鷹の台駅

上水本町・一橋ルート

中央公園入口→最寄の駅：西武国分寺線鷹の台駅

一橋学園駅南→最寄の駅：西武多摩湖線一橋学園駅

#### ② 病院、薬局

鷹の台駅西側ルート、鷹の台駅西側ルート第2期

南台病院前→最寄の病院等：南台病院、社会福祉施設

上水本町・一橋ルート

一橋病院→最寄の施設：一橋病院

上水本町クリニックモール→最寄の施設：上水本町クリニックモール

#### ③ 商業施設

上水本町・一橋ルート

一橋学園駅南→最寄の施設：スーパーあまいけ、駅周辺商店街など

鷹の台駅西側ルート第2期

いなげや小平小川橋店→最寄の施設：いなげや小平小川橋店

### (4) 公共交通機関と接続した停留所

#### ① 鉄道駅との接続

鷹の台駅西側ルート、鷹の台駅西側ルート第2期

鷹の台駅北→西武国分寺線鷹の台駅

上水本町・一橋ルート

中央公園入口→西武国分寺線鷹の台駅

一橋学園駅南→西武多摩湖線一橋学園駅

#### ◆ 利用状況

- ・ 駅に接続する停留所は、いずれのルートも乗降ともに上位3番目に入る利用状況であり、鉄道駅最寄の停留所は利便性が高い。
- ・ 鷹の台駅西側ルート第2期では、停留所の位置が分かりにくいという地域等からの意見があったため、駅前の商店会の協力を得て、案内看板を設置した。
- ・ 上水本町・一橋ルートでは、最寄りの駅から停留所まで一定の距離があり、駅近くへの停留所設置に対する要望があった。

## ②民間バス路線との接続

### 鷹の台駅西側ルート

小川三叉路→西武バス「小川三叉路」

北町二丁目→ぶんバス「北町二丁目」

### 上水本町・一橋ルート

一橋病院→西武バス「一橋病院」

### 鷹の台駅西側ルート第2期

小川町一丁目地域センター・児童館→西武バス、立川バス「武蔵野美術大学」

小平西高校東→立川バス「小平西高校」

若葉町団地北→立川バス「若葉町団地」

#### ◆利用状況

- ・民間路線バスと接続した停留所は、「一橋病院」を除き、各ルートで利用が少ない傾向にあった。
- ・利用者の意識の中で、路線バスを乗り継ぐ移動が想定されていない可能性がある。

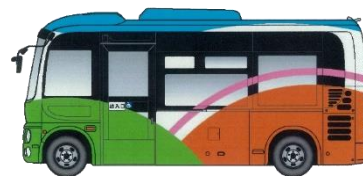
## ③コミュニティバスとの接続

### 上水本町・一橋ルート

四小通り→にじバス「四小通り」

#### ◆利用状況

- ・コミュニティバスへ接続する要望があり停留所を設けたが、結果的には利用が少なかった。
- ・南西部地域からコミュニティバス運行地域へ、乗り継いでまで移動する需要が少なかった。
- ・設置した停留所「四小通り」は、コミュニティバスの起終点である「津田公民館・図書館」での接続ではなかったこと、鷹の台駅からコミュニティバス運行エリアに接続する感覚が薄かったことが、多くの利用につながらなかった。



## 5 実証実験運行の利用実績等から見てきた状況

### (1) 移動傾向

#### ①鷹の台駅西側エリアの動き

- ・鷹の台駅西側ルート第2期の「小平第五中学校」停留所は、鷹の台駅北方面への乗車が多く、南台病院方面への降車が多い。
- ・運行事業者が捉えた人の動きとして、五中通りの東西で通院先が分かれている状況が生じている。
- ・鷹の台駅周辺の住民は、いなげや小平小川橋店に行く習慣は無く、鷹の台駅西側エリアは、五中通りから美大通りを境に、生活圏が異なる。

#### ②国分寺駅や立川駅方面への動き

- ・これまで実施したアンケート調査結果からも、南西部地域における仕事や買い物等の人の動きとして、民間路線バスを利用した国分寺駅や立川駅への流れが顕著に表れている。
- ・移動需要は、西武国分寺線、西武多摩湖線のほか、立川駅北口につながる民間バス路線が、武蔵野美術大学に隣接して整備されたバスの折り返し場まで延伸されたことなど、既存の公共交通機関により充足されている。

#### ③玉川上水以南エリアの動き

- ・玉川上水より以南の停留所は、鷹の台駅西側ルート、上水本町・一橋ルートともに利用が少ない傾向にある。
- ・民間路線バスによる国分寺駅や立川駅方面への移動が多く、小平市内の移動手段であるコミュニティタクシーの需要が少ない傾向にある。

#### ④住宅地や公共施設周辺の動き

- ・運行ルート設定における検討段階では、住宅地や公共施設付近の停留所は一定程度の利用が見込める想定であったが、実際には、どの停留所も全体的に利用が少なかった。他のルートの公共施設前の停留所は利用が多いことから対照的である。
- ・一方、「小平第五中学校」の周辺は住宅地であるが乗車が多く、「上水新町地域センター」についても利用が比較的多い。これは、代替する交通機関の有無、住民の年齢構成、コミュニティタクシーへの認知度が影響している。
- ・利用が少なかった住宅地の停留所
  - 鷹の台駅西側ルート：あさひ西公園、上水新町一丁目、創価学園西
  - 上水本町・一橋ルート：上水本町クリニックモール前、上鈴木自治会集会所
  - 鷹の台駅西側ルート第2期：若葉町団地北、せきれい公園
- ・利用が少なかった公共施設の停留所
  - 上水本町一橋ルート：小平第十小学校：上水本町地域センター
  - 鷹の台駅西側ルート第2期：小川町丁目地域センター・児童館

## (2) 地域の特性

### ①道路交通事情と地域環境

→南西部地域は東西に広いが、そこをつなぐ幹線道路が他の地域に比べて少なく、さらに狭あい道路が多い。さらに、生活圏が玉川上水や鉄道で複数に分断されている。

- ・地域が東西に広く、生活圏が玉川上水で南北に、西武国分寺線で東西に分断されている。
- ・他の地域に比べて狭あい道路が多く、公共交通機関を運行するには、安全確保が不十分であるなど、運行ルートの設定にあたり道路環境が合わなかった。
- ・運行時間30分を目安に検討していたことから、東西に広い地域をつなぐこと、玉川上水を横断するなどの運行ルートの設定ができなかった。
- ・東西に広い地域に対し、1ルートでは移動における需要を反映することができなかった。

### ②人の動きの分散化

→人の動きが一つの駅への一極集中ではなく、市を跨いだ複数の駅に向かっており、買い物や通院先も分散されている。

- ・地域内には、鷹の台駅や一橋学園駅、新小平駅、東大和市駅など、隣接する駅も含めて複数の駅がある。さらに、国分寺駅や立川駅にも乗り換え無しで行ける民間路線バスもあり、利用する駅が集中せずに分散されている。
- ・南西部地域の生活圏が、玉川上水や西武国分寺線で分断されていることにより、買い物先や通院等の人の動く方向、行き先が分散している。
- ・上水本町エリア、鷹の台駅から美大通りエリア、美大通り以西エリアは、生活圏や利用する駅が異なっており、人の動きや方向性が分散されている。

## (3) 地域課題

### ①地域ニーズを反映した運行ルートの設定や停留所の設置の難しさ

→安全性や道路交通事情、車両制限令を考慮する必要があったことから、運行ルートの設定や停留所の設置に関して、地域のニーズを十分に反映することが困難だった。

- ・年々厳しくなる交通規制により、人の動きが多い場所や要望がある場所に停留所が設置できず、さらに、停留所の設置間隔が長くなってしまった。
- ・地域等の要望に基づき設置した公共施設周辺の停留所について、移動需要が想定外に少なかった。
- ・目的や行先が分散されていることから、移動におけるニーズは多様に細かくあるが、そのニーズに対する需要は少ない。
- ・令和3年2月実施の「南西部地域コミュニティタクシー実証実験運行鷹の台駅西側ルート第2期利用者アンケート調査」では、利用が少ない理由として「他の交通手段を使っている」が27.4%、「近くに停留所が無い」が23.6%、「目的地に行かない」が13.3%の回答で、潜在的なニーズはあるがそれに即した運行ルートや停留所が設定できなかった。



## ②コミュニティタクシーの運行システムとの合致

→実証実験運行から継続的な運行へ移行するために、定時定路線での運行、1日平均乗車人数（70人）や市の補助（概ね500万円／年度）を目標としてきたが、地域の特性や道路交通事情等にコミュニティタクシーの運行システムが合致しなかった。

- ・実証実験運行で明らかになった人の動きや目的地に対し、定時定路線での運行や一つの駅に向かう運行ルートと、ニーズが合わなかった。
- ・他の地域と南西部地域の特性やニーズが異なることから、コミュニティタクシーの運行システムが地域に即していないことが明らかになった。
- ・コロナ禍における状況を加味しても、目標としている1日平均乗車人数70人を将来的に超える見込みが無く、補助の上限（概ね500万円／年度）を大きく上回る結果となった。
- ・これまでのようなコミュニティタクシーの運行システムよりも、より小さな需要に応える交通システムの構築が求められている。

## （4）その他

### ①新型コロナウイルス感染症拡大の影響

→緊急事態宣言が発出され、市民の外出抑制などの事態が長期化し、日常的生活交通としての利用につながらなかった。

- ・鷹の台駅西側ルート第2期の利用状況が令和2年2月中旬より徐々に減少し、コミュニティバスやコミュニティタクシー3ルートにおいても、前年同月比が3割から4割減となり、4月は5割まで減少した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環として、政府や東京都から外出自粛要請が発令されたことにより、市民の外出抑制や感染症対策における不安などが利用状況に大きく影響した。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった時期と鷹の台駅西側ルート第2期実証実験運行の実施時期が、重なってしまった。





## 6 南西部地域における地域公共交通の今後について

### (1) 考える会の今後の活動

#### ①会議の開催や会の活性化

南西部地域におけるコンパクトな地域内の生活交通の利便性向上を目指し、引き続き、会議を開催する。

また、持続可能な考える会の体制を構築し、さらなる活性化を図るため、参加団体の幅を広げるなど、構成メンバーの見直しを進めていく。

#### ②新たな交通手段等の研究、検討

新たな交通手段等を研究、検討するため、他自治体の先行事例などの情報収集を図るとともに、講師等を招きながら勉強会を開催する。

### (2) 目指すべき方向性

#### ①コミュニティタクシー以外の新たな交通手段の研究

実証実験運行やアンケート調査を通じて顕在化された課題を踏まえ、地域の特性やニーズに即したコミュニティタクシー以外の新たな交通手段を研究する。

#### ②既存の公共交通機関の有効活用についての検討

既存の路線バスやタクシーを有効活用するため、効果的な交通案内や利用促進策を関係機関等と連携しながら検討する。



## <参考資料>

### 1 アンケート調査結果について

#### (1) 小平南西部地域 生活交通に関するアンケート調査

調査目的	コミュニティタクシーの運行ルートを検討するにあたり、南西部地域の住民の外出行動や交通手段の状況などを把握するため。
実施時期	平成28年9月
調査対象	南西部地域住民
回収数	935件
主な質問項目	買い物先、通院先、買い物・通院以外の外出先、外出頻度など

#### ◆見えてきたこと

- ・買い物先は、特定のスーパーマーケットへの集中が見られる。
- ・通院先は、市内だけでなく市外にも広域的に分散している。
- ・買い物や通院以外の外出先は、立川市など市外や市役所周辺など地域外へ出掛ける傾向がある。
- ・コミュニティタクシーは、公共施設に行く時に乗るものというイメージが形成されている。

#### (2) 南西部地域コミュニティタクシー<ぶるべー号>に関するアンケート調査

調査目的	地域住民の移動傾向を把握し、併せてコミュニティタクシーの認知度、利用しない理由を確認することで、コミュニティタクシーの需要や行き先を明らかにして運行ルート設定に反映するため。
実施時期	令和元年7～8月
調査対象	南西部地域住民
回収数	993件
主な質問項目	ぶるべー号の認知度、利用の有無、利用しない理由、外出先など

#### ◆見えてきたこと

- ・南西部地域における実証実験運行（鷹の台駅西側ルート）の認知度は8割近くであったが、実際の利用は2割を下回っており、認知度が必ずしも乗車につながっていない状況がある。
- ・ぶるべー号を利用しない理由や外出の際に利用する交通手段の回答から、地域内の移動手段として自転車が中心となっている状況がある。
- ・主な外出目的は買い物で、特定のスーパーマーケットへの集中が見られる。
- ・買い物以外の外出先は、「通勤・通学」「余暇活動」が多く、地域外へ出掛けることが多い状況がある。

### (3) ぶるべー号利用者アンケート調査

調査目的	コミュニティタクシーのさらなる利便性の向上や利用促進を図るため、運行における現状を把握するとともに、課題を抽出し、解決に向けた検討に活用するため。
実施時期	令和2年3月
調査対象	ぶるべー号利用者 ※大沼・栄町・鈴木町ルート含む
回収数	42件(南西部地域実証実験運行のみ)
主な質問項目	満足度、不満の理由、利用目的、利用頻度など

#### ◆見えてきたこと

- ・利用者の半数は満足していたが、運行ルートへの不満が多くあった。
- ・利用目的は、買い物や通院が多いほか、続いて駅への利用が多かったことから、地域外へ出掛ける交通手段の一部をコミュニティタクシーが担っていた。

### (4) 鷹の台駅西側ルート第2期利用者アンケート調査

調査目的	実証実験運行の結果分析や検証をするにあたり、コロナ禍においてもコミュニティタクシーを利用している方の利用状況や利用目的を把握するため。
実施時期	令和3年2～3月
調査対象	実証実験運行利用者
回収数	106件
主な質問項目	利用頻度、利用目的、利用が少ない理由など

#### ◆見えてきたこと

- ・停留所別の利用状況は、「鷹の台駅北」「南台病院」「いなげや小平小川橋店」及び「小平第五中学校」に集中していた。
- ・停留所の利用状況から、美大通りよりも東側の停留所で乗車する方は「鷹の台駅北」方面に向かう時に、また美大通りよりも西側の停留所から乗車する方は「いなげや小平小川橋店」方面に向かう時に利用する傾向がある。
- ・コミュニティタクシーを利用しない理由として、「知られていないから」の回答が53.8%と最も多かった。また、「他の交通手段を使っているから」の回答が27.4%あり、(2)南西部地域コミュニティタクシー<ぶるべー号>に関するアンケート調査結果からも、同様の回答が56.6%あり、既にある交通手段や自転車、自動車等で移動している状況が顕著に見られる。

## 2 運行経費、運賃収入、補助金額

### (1) 鷹の台駅西側ルート第1期（平成30年度決算）

運行期間：平成30年7月30日～平成31年1月29日（122日間）

運行経費（人件費、燃料費等）	7,877,922円
運賃収入等	548,160円
運行経費補助（経費一収入）	7,329,762円

### (2) 上水本町・一橋ルート（令和元年度決算）

運行期間：平成31年3月1日～令和元年8月30日（122日間）

運行経費（人件費、燃料費等）	3,901,827円
運賃収入等	159,060円
運行経費補助（経費一収入）	3,742,767円

### (3) 鷹の台駅西側ルート第2期（令和2年度決算見込み）

運行期間：令和2年 1月14日～令和2年5月 8日（77日間）

令和2年10月26日～令和3年3月19日（96日間）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、一部運休

（運休：令和2年5月9日～10月25日）

運行経費（人件費、燃料費等）	8,140,000円
運賃収入等	390,000円
運行経費補助（経費一収入）	7,750,000円

※令和2年度に係る決算は見込額

#### <説明>

- ・各ルートの運行経費の差異は、初期費用としての車両費や運行期間によるもの
- ・車両費は、最初の実証実験運行である鷹の台駅西側ルート第1期（平成30年度）で計上
- ・鷹の台駅西側ルート第2期は、運行期間の延長及び感染症対策費の計上に伴い、他のルートより運行経費が増額

